

災害時に町民のみなさんに実践していただきたい「命を守る行動・知識」を毎月お伝えしていきます。

初夏から秋にかけては、台風や前線の影響で大雨、洪水、暴風等による自然災害が発生しやすい季節です。警報などの防災気象情報を利用して、被害を未然に防いだり、軽減することが可能です。

台風や大雨の危険が近づいている時には、テレビやラジオ、インターネット等で情報収集をし、災害への備えをもう一度確認しましょう。

家の外の備え

雨や風が強くなってからでは外の作業は危険です。必ず、雨が降る前や、風が強くなる前に行いましょう。

側溝や排水口を 掃除する

ごみが詰まっている
と水があふれて
しまいます



雨戸や網戸を 固定する

窓や雨戸はしっかり
とカギをかけ、
必要に応じて補強
しましょう



屋外のものを 家の中にしまう

物干し竿や植木鉢な
どの風で飛ばされそ
うなものは家の中へ
しまいましょう



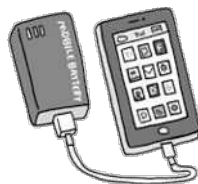
家の中の備え

非常用品を確認する

懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池)、緊急薬品、衣類、非常用食品、携帯ボンベ式コンロ、貴重品など



スマートフォンや パソコンの充電を しましょう



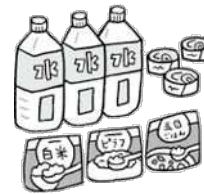
窓ガラスに飛散防止 フィルムを貼る

万が一、飛来物で窓ガラスが割れた際、けがを防げます。また、カーテンも閉めておきましょう



食料・水の確保

最低3日分(できれば7日分程度)は生活できるように食料、飲料水の備蓄に努めてください



避難の心得 ~「避難」とは「難」を「避」けること~

内閣府の示す「避難情報に関するガイドライン」では、住民は「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、自らの判断で避難行動をとることが必要であると記載されています。

危険な場所は、人によって異なります。避難情報が発表された時に「今、自分がいる場所」が危険な場所であれば、安全な場所(避難所・知人宅等)への避難が必要です。

避難場所や危険箇所はハザードマップで確認



避難する際の持出品チェックリスト(2023年4月号で紹介)



次回は「総合防災訓練について」を掲載予定

【問】総務課・自治防災室 ☎(56)2220

内装&外装 塗装工事一式

なかむら塗装

静岡県知事許可 第25802号

川根本町徳山936

TEL・FAX 0547-57-2840

二代目代表 中村 剛子(なかむら たかね)

ご相談やお見積もりは無料です。お気軽にお声掛けください。